

Press Release



2024年3月19日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、札幌市に企業版ふるさと納税を活用した寄付を実施し、感謝状を授与 札幌市が実施する障がいのある方の就労支援事業に活用

トランスコスモス株式会社(代表取締役共同社長: 牟田正明、神谷健志)は、企業版ふるさと納税を活用し、札幌市への寄付を実施しました。3月18日、札幌市役所において感謝状の贈呈式が開催されました。



感謝状贈呈式の様子

写真右: 札幌市長 秋元克広様

写真左: トランスコスモス 上席常務執行役員 公共政策本部長 高山智司

トランスコスモスでは1980年に札幌市に進出し、現在では14拠点・約6,100人の従業員でコンタクトセンターサービス、デジタルマーケティングサービスなどのCXサービス、BPOサービスを提供しています。今回の寄付は、札幌市の「障がいのある方を支え、自立を促進する取り組みを進める」という方針に強く共感し、長年にわたり事業を支えていただいている自治体への感謝を表明するとともに、多くの従業員が生活する自治体の取り組みを支援することを目的としています。

札幌市への寄付金は、障がいのある方の就労支援「障がい者DXリスキリング事業」において、一般企業に在職している障がいのある方を対象にした高度なICTスキル(ホームページ作成、プログラミング等)を習得する講座の実施に活用される予定です。寄付を契機に新たな障がい者雇用促進の事業を共創することで、持続可能な社会の実現に向けて貢献します。

企業版ふるさと納税とは、地方公共団体による地方創生の取り組みに対する企業の方からの寄付に対し、法人住民税などを税額控除する地方創生応援税制で、2016年より開始されたものです。トランスコスモスではこれまでもこの制度を活用し、「熊本地震 震災ミュージアム 記憶の廻廊」への寄付や、熊本バスケットボール株式会社が運営するプロバスケットボールチーム、「熊本ヴォルターズ」への支援を実施してきました。

トランスコスモスでは、社会課題の解決に取り組むことで、企業としてのソーシャルインパクトを拡大し、社会全体のWell-beingを最大化していくことをパーパスとして、みなさまのSXパートナーとなるべく活動をしています。今後も従業員や従業員が生活する自治体への感謝およびSDGs推進の一環として企業版ふるさと納税制度を活用し、自治体の取り組みを支援していきます。



トランスコスモスは“お客様の満足の大きさが我々の存在価値の大きさであり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る”を経営の基本理念とし、責任ある企業活動と people&technology を軸とした事業を通じて、SDGs の達成に貢献します。

トランスコスモスは、SDGs の 17 の目標とそれぞれにかかわる経営戦略において、自社の持続的成長の観点からそのリスクと機会を分析・把握することが重要と考えています。そのため、トランスコスモスの事業・経営資源と SDGs との関係性を整理し、特に重要性の高い社会課題を優先的に目標設定して定期的な達成状況の確認を行う専任組織として、トランスコスモス SDGs 委員会を設置しています。委員会では、従業員向け SDGs 教育(e ラーニング)、各部門代表者が参加する社内ワークショップの実施などを通じて、SDGs を軸とした社内外でのイノベーション活動を展開し、SDGs 活動の啓蒙と定着をはかっています。



※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です
※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 35 の国と地域・181 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)